

# 株式会社ガイアバイオメディシン

<https://gaia-biomed.com/>

固形がんへの効果が期待できる  
再生医療等製品の開発

GAIA BIOMEDICINE

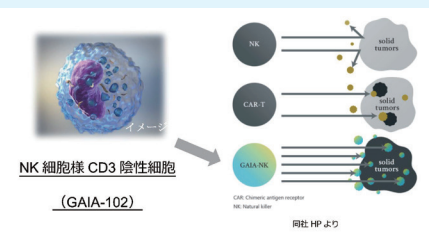
## 会社の特徴、事業概要

ガイアバイオメディシンが開発する「GAIA-102」は、死亡数の最も高い肺がんの中でも8割を占める「非小細胞肺がん」への高い有効性が見込まれており、T細胞を遺伝子改変したCAR-Tなど他の細胞医薬品に比べて固形がんに対し有望な免疫細胞療法となることが期待されている。加えて、他の細胞医薬品と異なり、極めてシンプルな製造／投薬プロセスが可能となることから、商業利用の点でも優れた競争優位性を有している。

細胞医薬品は、細胞そのものを人に投与して治療効果を得る薬剤。近年注目されている新たな創薬モダリティであり、もともと人に備わるT細胞やナチュラルキラー（NK）細胞などの免疫細胞をベースにがん細胞への攻撃力を増強させた細胞が使われる。

## 大阪大学との関係

ガイアバイオメディシンは九州大学大学院薬学研究院・米満吉和教授の研究成果を活用して、新規細胞医薬品の開発に取り組む九州大学発のベンチャー企業。NK細胞と形質上類似するNK様細胞（GAIA-102）を開発し、他家細胞を用いることによりスケーラブルな医療を可能とする新たながん免疫細胞療法の開発に取り組んでいる。本件は、大阪大学以外の国立大学の研究成果を活用したベンチャー企業への投資が可能になったOUVC2号ファンドでの初の他大学案件となる。



所在地 福岡県東区馬出3丁目-1-1

代表取締役 倉森 和幸

設立 2015年10月